

 構造計画研究所
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

問い合わせ先

株式会社構造計画研究所 すまいIoT推進部 RemoteLock 担当

TEL : 03-5342-1006 ※9:00～17:00のみ(土日祝日、夏期休暇、年末年始等は除く)

e-mail : support_remotelock@kke.co.jp



デッドボルトタイプ

LS-5i 総合マニュアル(取扱説明書)

安全にお使いいただくために

ご使用前に、本書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。ここに記した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お使いになる方や、他の人への危害や財産への損害を未然に防ぐための内容を記述していますので、必ずお守りください。

表示説明

危険

誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある内容

警告

誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容、および、家屋・家財などの損害に結びつく内容

注意

誤った取り扱いをした場合、軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容

危険



禁止

異常に温度が高くなる所で使用したり置いたりしない。火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

火の中に入れてない。火災、やけどの原因となります。



禁止

落としたり、投げたり、踏みつけたりしない。発火発熱、破裂、火災、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしない。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

電源は指定された乾電池以外は使用しない。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水漏れ防止

故意に液体の中に入れてたり、液体をかけたり、濡らしたりしない。火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告



禁止

接続端子に導電性異物を接触させたり、内部に入れてない。火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。



禁止

ご使用中や電池を入れた状態で布などをかぶせたり、包んだりしない。火災、やけどの原因となります。



禁止

電源との接続ケーブルが痛んだら、使用しない。火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

本体は風呂場や台所などの湿気の多い場所では使用しない。火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったら電源との接続ケーブルに触れない。火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

端子に触れない。火災、やけど、感電の原因となります。

警告



分解禁止

電源との接続ケーブルをねじったり、たばねたり、加工しない。火災、やけど、感電の原因となります。



水漏れ禁止

濡れた手で電源アダプターや端子に触れない。火災、やけど、感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用する。誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。詳細は総合マニュアルの製品仕様をご覧ください。



指示

電源との接続ケーブルを抜く場合、ケーブルを引っ張らない。火災、やけど、感電の原因となります。



指示

使用中、保管時に煙、異臭、発熱、変形などの異常が発生した場合は、直ぐに使用を中止する。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

携帯電話・時計・電子機器、金属物体、クレジットカード、ハードディスク、ペースメーカー等、電波の影響を受ける可能性のある物体を本製品の近くに置かない。データの損失や、商品の故障につながるおそれがあります。



指示

本製品使用に適さない年齢のお子様やペットなど動物の手の届かないところで、使用・保管する。破損など不測の事態の原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、電波による影響について医師に確認の上使用する。医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



禁止

お手入れの際、ベンジン・シンナーなどの化学薬品は使用しない。変色、変質の原因となります。

注意



禁止

不安定なところに置かない、取り付け時はしっかりと取り付ける。落下して故障、けがの原因となります。



禁止

落下による変形、キズ、故障した状態で使用しない。電池の液漏れ、発火、破裂、火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

故意に液体の中に入れて、液体をかけたり、濡らしたりしない。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



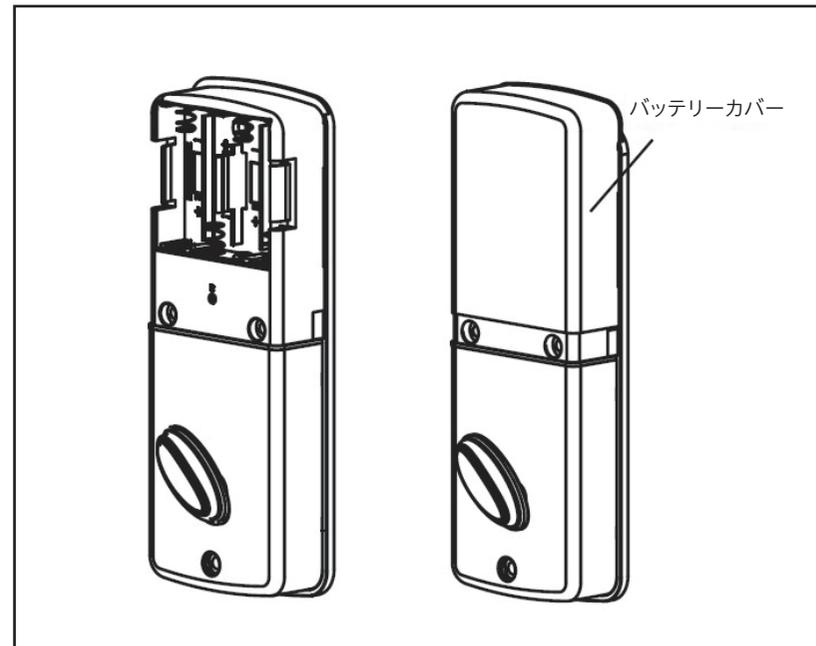
製品仕様

モデル名	RemoteLock 5i	
型番	LS-5i	
カラー	ブラック/シルバー	
サイズ (mm)	屋外側	W78.3 × H129.1 × D33.1
	屋内側	W73 × H189 × D44.3
	チューブラー (バックセットサイズ)	60~70
本体質量	屋外側	約310 g
	屋内側	約340 g
無線LAN(標準規格)	IEEE802.11b/g/n準拠	
バッテリー	単三アルカリ電池またはリチウム電池(1.5V) 4本	
使用温度範囲	-34°C~50°C	

同梱物一覧

- RemoteLock 5i屋外側筐体および部材(ボタン側)
- RemoteLock 5i屋内側筐体および部材(バッテリーホルダー側)
- シリンダー
- 物理鍵2本
- チューブラー(デッドボルトタイプ)
- ねじ(長:2本、短:3本、金属ドア用:5本)
- Wi-Fi設定マニュアル
- デバイス初期設定マニュアル
- 安全にお使いいただくために
- 保証書

電池の入れ方



4本の単三のアルカリまたはリチウム電池をバッテリーカバーを外して入れてください。ニッケド電池等の充電式電池は利用しないでください。

⚠ 注意 必ず初期設定してください

P.11に書かれた「セットドアハンディング」を実行するまで、
本製品は機能しません

全体図

屋外側

① LockStateボタン

解錠コードやプログラミングコードを入力したり、機能を設定するために使われます。また、部屋の外側から施錠するためにも使われます。

② キーパッド

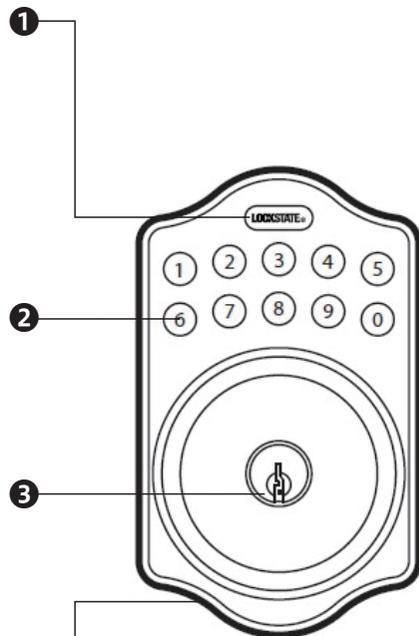
解錠コード、プログラミングコードの数字を入力するために使います。

③ シリンダー

部屋の外側から付属のカギを用いて解錠施錠する時に使います。

④ ガスケット

ロックの中に水が入ることを防ぎます。



屋内側

⑤ バッテリーカバー

バッテリーを交換するときの上にスライドさせます。

⑥ バッテリーホルダー

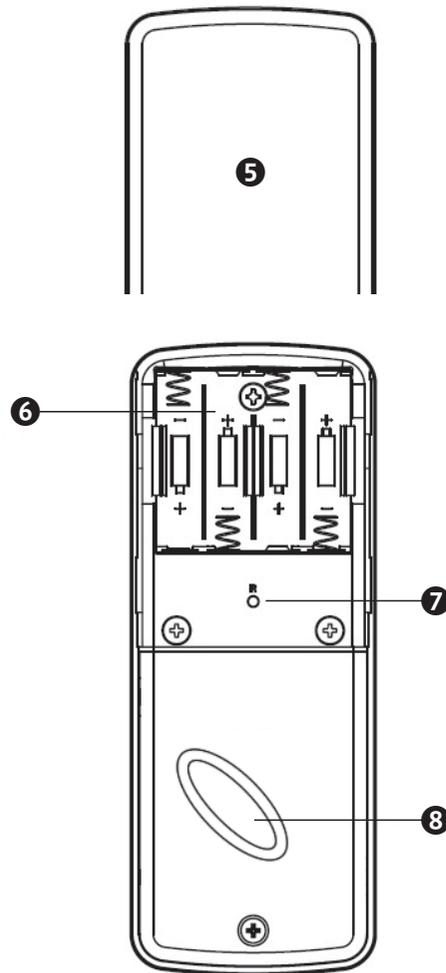
4本のアルカリまたはリチウム単三電池のみ利用可能です。

⑦ Rボタン(リセットボタン)

長押しすることで設定を工場出荷状態に戻すことができます。

⑧ サムターン

部屋の内側から解錠・施錠する時に使います。



特徴・機能

電源

単三電池4本(アルカリまたはリチウム電池)

プログラミングコード

初期プログラミングコードは「123456」です。**セキュリティ確保のため、新しいプログラミングコードに必ず変更してください。**プログラミングコードの長さは4桁から10桁で設定出来ます。

ローカルPIN

プログラミングコードを利用して設定する解錠コードのことです。最大10個まで登録でき、初期コードは「1234」です。ローカルPINの長さは4桁から10桁で設定出来ます。

ユーザーPIN

LockState Connect(ウェブ管理画面)を利用して設定する解錠コードのことで、日時を指定して設定が出来ます。ユーザーPINの長さは4桁から10桁です。

オートロックモード

ロック解錠後、自動的に施錠するモードのこと。工場出荷状態ではこのモードで、解錠後5秒後に閉まるように設定されています。

秒数はP.12のプログラミングコード操作またはLockState Connect上で変更可能です。

オートロックモード解除

ロック解錠後、そのまま解錠されたままのモードのこと。施錠する場合は自身で施錠する必要があります。

工場出荷状態に戻す

まず電池1つを脱着し、再起動させます。電源の再起動後10秒以内にバッテリーパック下にある「R」ボタンを押し続けると、工場出荷状態へ戻すことが出来ます。

通知

ビーブ音回数

- 1回(ピッ): ボタン押下が成功したことを示しています
- 2回(ピーピー): プログラミングコード操作が成功したことを示しています
- 3回(ピーピーピー): 動作やプログラミングコード操作が失敗したことを示しています

点灯通知

- 緑1回点滅: ボタン押下が成功したことを示しています
- 緑2回点滅: プログラミングコード操作が成功したことを示しています
- 赤5回点滅: プログラミングコード操作が成功したことを示しています
- 赤3回点滅: 動作やプログラミングコード操作が失敗したことを示しています
- オレンジ点滅: プログラミングコード手順の最中であることを示しています

ドアの解錠

鍵、ユーザーPIN入力、ローカルPIN入力、屋内側のサムターンを回すことのいずれかで解錠できます。

ユーザーPINおよびローカルPINの入力は「PINコード + 」が可能です。

例: 1234 → 

ドアの施錠

鍵、の二回押し、屋内側のサムターンを回すことで施錠できます。

セットドアハンディング

デッドボルトの施錠状態、解錠状態を正しく設定するための手順。工事取付後、デバイス初期設定マニュアルまたは次ページを参照し、はじめに**必ず**行ってください。 ※P.11参照

プログラミング機能

このページの「PC入力」は「プログラミングコード入力」を指しています。

⚠ 注意

セットドアハンドリング

まずはじめにデッドボルトが「解錠」状態(引っ込んでいる状態)になっていることを確認してください。本商品は初期セットアップ時または工場出荷状態リセット後にこの手順を行わないと利用できません

PC入力 →  → 140 → 

※例:123456 →  → 140 → 

※工事業者に取付けを依頼した場合は、実施不要です。

プログラミングコード変更

PC(変更前)入力 →  → 100 → 

→ PC(変更後)入力 → 

(の赤5回点滅、ビーブ音2回で成功です)

ローカルPIN追加(最大10個まで)

PC入力 →  → 110 → 

→ 新しいローカルPIN入力 → 

(の緑2回点滅、ビーブ音2回で成功です)

※10個目のローカルPINを追加時は、が5回点滅します。

ローカルPIN削除

PC入力 →  → 120 → 

→ 削除したいローカルPIN入力 → 

(の緑2回点滅、ビーブ音2回で成功です)

全てのローカルPIN削除 および 初期ローカルPIN「1234」の追加

PC入力 →  → 131 → 

(の赤5回点滅、ビーブ音2回で成功です)

Wi-Fi設定のリセット

PC入力 →  → 312 → 

(の緑2回点滅、ビーブ音2回で成功です)

Wi-Fi接続モード

PC入力 →  → 320 → 

(の緑2回点滅、ビーブ音2回で成功です)

オートロックモード

PC入力 →  → 271 → 

(の赤5回点滅、ビーブ音2回で成功です)

オートロックまでの時間変更(5秒~20秒で設定可能)

PC入力 →  → 260 → 

→ (変更したい秒数を入力) → 

(の赤5回点滅、ビーブ音2回で成功です)

オートロックモード解除

PC入力 →  → 270 → 

(の赤5回点滅、ビーブ音2回で成功です)

ミュート(無音モード)設定

PC入力 →  → 160 → 

(の赤5回点滅で成功です)

ミュート(無音モード)解除

PC入力 →  → 161 → 

(の赤5回点滅、ビーブ音2回で成功です)